

理研シンポジウム

第 22 回 分析・解析技術と化学の最先端

開催日時： 令和 6 年 12 月 17 日（火） 12：55－17：30 （意見交換会 17：50－20：00）

場 所：国立研究開発法人理化学研究所 鈴木梅太郎記念ホール

主 催：国立研究開発法人理化学研究所（環境資源科学研究センター 分子構造解析ユニット）

Frontiers on Chemistry and Analytical Technology (XXII)

Tuesday Dec. 17, 2024 12:55-17:30

Suzuki Umetaro Hall, RIKEN

Contact: RIKEN CSRS, Molecular Structure Characterization Unit (Tel. 050-3500-5818)

新しい重要な機能を持つ化合物の発見と創成が化学の進展のドライビングフォースであるが、より高度な新しい分析技術、解析技術の開発と応用も化学の最先端には必須である。本シンポジウムでは、最新の機器分析技術、化学と関連分野のトピックスとそこで活用されている分析・解析手法について、開発に携る研究者とそれらを効率的に利用している研究者に講演していただき、活発な討論を行う予定である。

12：55－13：00

趣旨説明

越野 広雪（理研 CSRS）

13：00－13：40

分子配列制御による自己修復ポリマーの創製

侯 召民（理研 CPR /理研 CSRS）

13：40－14：20

鉄鋼用材料の構造解析への固体 NMR 手法の応用

奥下 慶子（日本製鉄(株)/理研 BDR）

14：20－15：00

特異な構造を有する有機色素の合成と物性・機能の解析

神野 伸一郎（愛知学院大・薬 /理研 CSRS）

休憩（15：00－15：30）

15：30－16：10

血液検体を対象とするワイドターゲットリポドミクス

徳岡 涼美 (東大・院・医)

16:10-16:50

分子シミュレーションで迫る糖鎖の構造-機能相関

李 秀栄 (医薬健康研 AI 健康医薬研究センター)

16:50-17:30

質量分析を用いて探る先史人類の食行動

庄田 慎矢 (奈良文化財研究所)

17:50- 意見交換会 (第一食堂)

[問い合わせ先]

国立研究開発法人理化学研究所 環境資源科学研究センター 技術基盤部門 分子構造解析ユニット

越野広雪

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1

Tel.: 050-3500-5818

e-mail: koshino@riken.jp

[参加申し込み]

氏名, 所属, 住所, 電話番号, 電子メールアドレス, 出席人数, 意見交換会参加の

有無 (有料 4,000 円、学生 2,000 円) 等を明記の上, 12 月 10 日までに e-mail にてお申し込み下さい。

[個人情報に関する取扱について]

ご記入いただいた個人情報は, 参加者の集計および主催者からの連絡に利用させていただきます。
